

## (2) 機器利用前の見守り支援の頻度及びその時間

機器利用前において、見守り頻度としては「1.毎日(週7回)」を選択した方が75%と最多であった。(図表9)1日あたりの見守り時間としては「1.利用者の活動時間のうちほとんど全て見守り支援している(目が離せない)」と「2.利用者の活動時間の半分以上見守り支援している」がともに39%で合計すると78%であった。(図表10)

図表9 利用前における見守り頻度(n=24)\*無回答3名【調査票1-問3(3)】

3(3)現在利用者 に行っている見 守り支援を行う 頻度	1 毎日(週7日)	18	75%
	2 週4から6日	2	8%
	3 週2から3日	3	13%
	4 週に1日(月に4回)	1	4%
	5 月に2から3回	0	0%
	6 月に1回	0	0%
	7 それ以下	0	0%

図表10 機器利用前における見守り時間(n=23)\*無回答4名【調査票1-問3(4)】

3(4)現在1日あた りのくらの時 間見守り支援をし ているか	1 利用者の活動時間のうちほとんど全て見守り支援している(目を離さない)	9	39%
	2 利用者の活動時間半分以上見守り支援している	9	39%
	3 利用者の活動時間半分未満見守り支援している	2	9%
	4 見守り支援をほとんどしていない(時々確認する程度)	3	13%
	5 見守り支援は全くしていない	0	0%

## 4. 機器利用後の見守り支援の実態

### (1) 機器の取り付け場所と取り付け頻度

機器の取り付け場所は、「1.本人の靴」(甲の部分)が最も多く58%、次いで「5.カバンの中」が25%となっており、使用場所としては、「2.介護事業所」が最も多く65%、次いで「1.病院」39%となっている。(図表11・図表12)

また、取り付け頻度については全員が「1.ほぼ毎日(週4日以上)」と回答している。(図表13)

図表11 いつも2の取り付け場所(n=24)【調査票2-問2(1)】

2(1)いつも2の 取付場所※複数 回答可	1 本人の靴	14	58%
	2 GPS取付専用の靴	0	
	3 お守り袋の中	1	4%
	4 杖につける	0	
	5 カバンの中	6	25%
	6 その他	3	13%

※「6.その他」を選択した人の自由記載

- ・玄関の鍵
- ・スマホカバーの中

図表 12 いつも2の使用場所(n=23)\*無回答1名【調査票2-問2(2)】

2(2)いつも2 の使用場所※ 複数回答可	1	病院	9	39%
	2	介護事業所	15	65%
	3	小売店・スーパー	2	9%
	4	親戚宅	1	4%
	5	友人宅	0	0%
	6	公民館・集会所	1	4%
	7	図書館	1	4%
	8	飲食店	2	9%
	9	ふれあいセンター	0	0%
	10	その他	5	22%

※「10.その他」を選択した人の自由記載

- ・自宅及び周辺
- ・近所
- ・サ高住
- ・散歩

図表 13 いつも2の取り付け頻度(n=23)\*無回答1名【調査票2-問2(3)】

2(3)いつも2を 本人に取り付け る頻度※複数回 答可	1	ほぼ毎日（週4日以上）	23	100%
	2	週に2から3日	0	
	3	週に1日（月に4回）	0	
	4	月に2から3回	0	
	5	月に1回	0	
	6	月に1回より少ない	0	

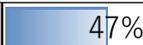
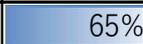
(2)機器利用後におけるいつも2を使用して居場所を確認する支援者

別居家族が居場所を確認する割合は利用後 1 か月、3 か月、6 か月の間おおむね 60%程度で変わらず、次いで同居家族、訪問介護員となっている。(図表 14-1~14-3)

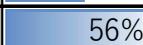
図表 14 利用後1か月における居場所を確認する支援者(n=24)\*無回答 0 名【調査票 2-問 2(4)】

2(4)いつも 2 を使用 して居場 所を確認 する人※ 複数回答 可	1	同居家族	7	 29%
	2	別居家族	15	 63%
	3	ケアマネ	0	0%
	4	訪問介護員	4	 17%
	5	訪問看護師	0	0%
	6	地域ボランティア	1	 4%
	7	その他	3	 13%

図表 14-2 利用後 3 か月における居場所を確認する支援者(n=17)\*無回答 2 名【調査票 2-問 2(4)】

2(4)いつも 2 を使用 して居場 所を確認 する人※ 複数回答 可	1	同居家族	8	 47%
	2	別居家族	11	 65%
	3	ケアマネ	1	 6%
	4	訪問介護員	5	 29%
	5	訪問看護師	0	0%
	6	地域ボランティア	0	0%
	7	その他	0	0%

図表 14-3 利用後 6 か月における居場所を確認する支援者(n=16)\*無回答 0 名【調査票 2-問 2(4)】

2(4)いつも 2 を使用 して居場 所を確認 する人※ 複数回答 可	1	同居家族	5	 31%
	2	別居家族	9	 56%
	3	ケアマネ	0	0%
	4	訪問介護員	4	 25%
	5	訪問看護師	0	0%
	6	地域ボランティア	0	0%
	7	その他	3	 19%

(3)機器利用後におけるいつも2を使用して居場所を確認する頻度

いつも2を使用して居場所を確認する頻度は利用後1ヵ月では「2.週に2から3日」が46%と最も多く、次いで「1.ほぼ毎日(週4日以上)」が29%となっている。

利用後3ヵ月では、「2.週に2から3日」が41%と最も多く、次いで「1.ほぼ毎日(週4日以上)」が29%となっている。

利用後6ヵ月では、「2.週に2から3日」が44%と最も多く、次いで「1.ほぼ毎日(週4日以上)」が38%となっている。(図表15-1～図表15-3)

図表 15-1 利用後1か月にけるいつもを使用して居場所を確認する頻度(n=24)\*無回答0名【調査票2-問2(5)】

2(5)現在利用者 に行っている見 守り支援を行う 頻度	1	ほぼ毎日 (週4日以上)	7	 29%
	2	週に2から3日	11	 46%
	3	週に1日 (月に4回)	2	 8%
	4	月に2から3回	2	 8%
	5	月に1回	1	 4%
	6	月に1回より少ない	3	 13%

図表 15-2 利用後3か月にけるいつもを使用して居場所を確認する頻度(n=17)\*無回答2名【調査票2-問2(5)】

2(5)現在利用者 に行っている見 守り支援を行う 頻度	1	ほぼ毎日 (週4日以上)	5	 29%
	2	週に2から3日	7	 41%
	3	週に1日 (月に4回)	2	 12%
	4	月に2から3回	1	 6%
	5	月に1回	0	0%
	6	月に1回より少ない	2	 12%

図表 15-3 利用後6か月にけるいつもを使用して居場所を確認する頻度(n=16)\*無回答0名【調査票2-問2(5)】

2(5)現在利用者 に行っている見 守り支援を行う 頻度	1	ほぼ毎日 (週4日以上)	6	 38%
	2	週に2から3日	7	 44%
	3	週に1日 (月に4回)	2	 13%
	4	月に2から3回	1	 6%
	5	月に1回	0	0%
	6	月に1回より少ない	0	0%

(4) 機器利用後における、いつも2を使用して見守っている時間

利用開始後1か月後、3か月後、6か月後において、「1.利用者の活動時間のうちほとんど全て見守り支援している(目が離せない)」を選択した方は1か月後には4%だったものが6か月後には19%に増加しており、一方で「3.利用者の活動時間の半分未満の見守り支援している」を選択した方は1か月後には50%と最多だったものが、6か月後には31%と減少している。(図表10-1~-3)

図表 16-1 利用開始 1 か月後におけるいつも2を使用した見守り時間(n=24)\*無回答 0 名【調査票 2-問 2(6)】

2(6)いつも 2使用 後、1日 あたりど のくらい	1	利用者の活動時間のうちほとんど全て見守り支援している (目が離せない)	1	4%
	2	利用者の活動時間の半分以上見守り支援している	6	25%
	3	利用者の活動時間の半分未満見守り支援している	12	50%
	4	見守り支援をほとんどしていない (時折確認をする程度)	4	17%
	5	見守り支援は全くしていない	1	4%

図表 16-2 利用開始 3 か月後におけるいつも2を使用した見守り時間(n=17)\*無回答 2 名【調査票 2-問 2(6)】

2(6)いつも 2使用 後、1日 あたりど のくらい	1	利用者の活動時間のうちほとんど全て見守り支援している (目が離せない)	0	0%
	2	利用者の活動時間の半分以上見守り支援している	7	41%
	3	利用者の活動時間の半分未満見守り支援している	8	47%
	4	見守り支援をほとんどしていない (時折確認をする程度)	2	12%
	5	見守り支援は全くしていない	0	0%

図表 16-3 利用開始 6 か月後におけるいつも2を使用した見守り時間(n=15)\*無回答 1 名【調査票 2-問 2(6)】

2(6)いつも 2使用 後、1日 あたりど のくらい	1	利用者の活動時間のうちほとんど全て見守り支援している (目が離せない)	3	20%
	2	利用者の活動時間の半分以上見守り支援している	5	33%
	3	利用者の活動時間の半分未満見守り支援している	4	27%
	4	見守り支援をほとんどしていない (時折確認をする程度)	3	20%
	5	見守り支援は全くしていない	0	0%

## 5. 機器利用後におけるいつも2以外の見守り支援の実態

### (1) いつも2以外の見守り支援の内容

機器利用後においても、1 か月後、3 か月後、6 か月後といずれの時期についても「1.目視や定期的な連絡による見守り」を選択した方が 87%~88%と最多であった。(図表 17-1~17-3)

図表 17-1 開始 1 か月後におけるいつも2以外の見守り支援の内容(n=23) \*無回答 1 名【調査票 2-問 3(1)】

3(1)現在介助者が行っている支援※複数回答可	1	目視や定期的な連絡による見守り	20	87%
	2	認知症徘徊感知機器（ドアセンサーのようなもの）を使用した見守り	1	4%
	3	その他	1	4%
	4	支援なし	3	13%

### 「3.その他」を選択した方の自由記載

日本基準寝具(注 別会社の GPS 端末を利用)

図表 17-2 開始 3 か月後いつも2以外の見守り支援の内容(n=16) \*無回答 3 名【調査票 2-問 3(1)】

3(1)現在介助者が行っている支援※複数回答可	1	目視や定期的な連絡による見守り	14	88%
	2	認知症徘徊感知機器（ドアセンサーのようなもの）を使用した見守り	1	6%
	3	その他	1	6%
	4	支援なし	1	6%

### 「3.その他」を選択した方の自由記載

アップル等(注 Bluetooth 端末を利用)

図表 17-3 開始 6 か月後いつも2以外の見守り支援の内容(n=16) \*無回答 0 名【調査票 2-問 3(1)】

3(1)現在介助者が行っている支援※複数回答可	1	目視や定期的な連絡による見守り	14	88%
	2	認知症徘徊感知機器（ドアセンサーのようなもの）を使用した見守り	0	0%
	3	その他	1	6%
	4	支援なし	2	13%

### 「3.その他」を選択した方の自由記載

キッズ(注 他社の子供用 GPS 端末を使用)

(2)いつも2以外の見守り支援の内容とその支援者

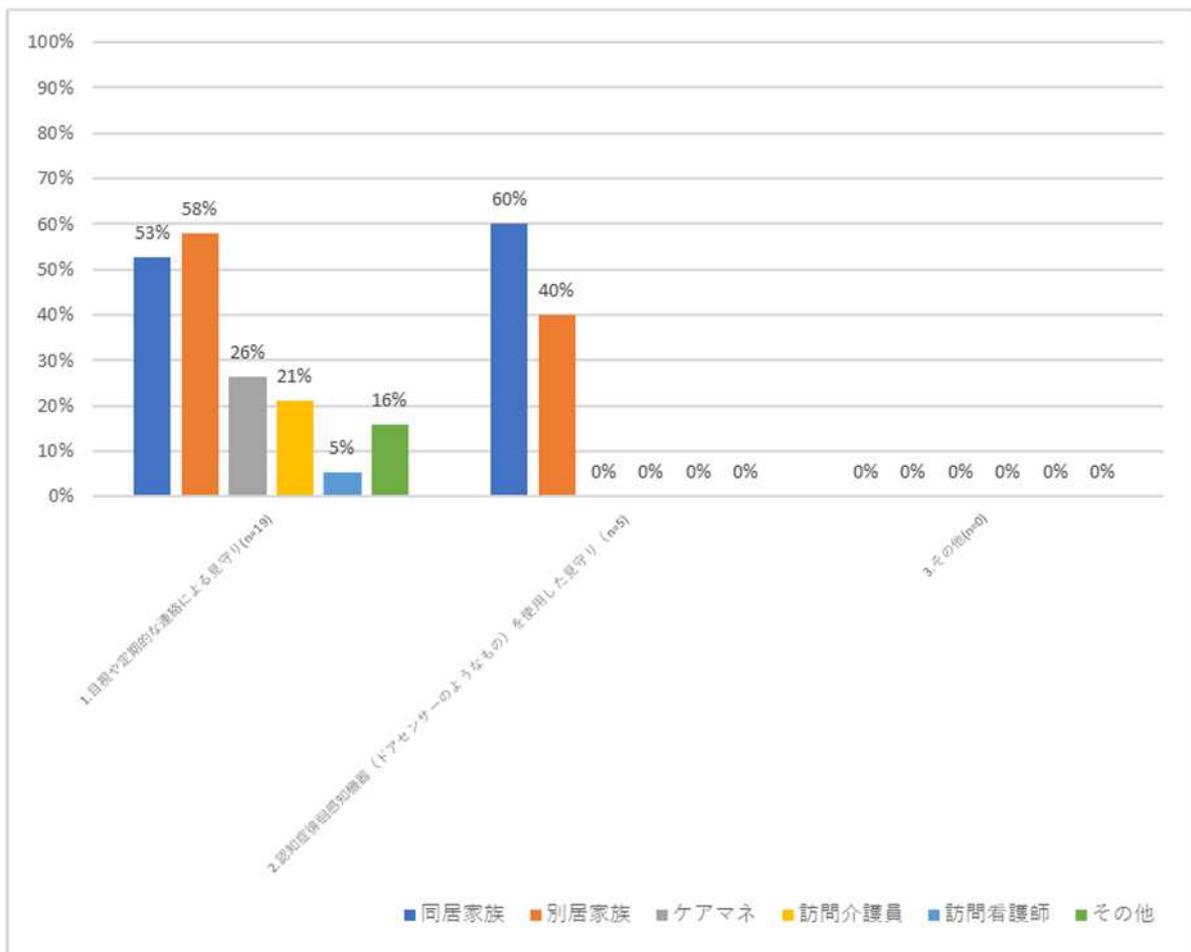
図表 17-1～図表 17-3 で示した見守り支援の内容ごとの支援者は以下のとおりである。利用後 1 か月後では「別居家族」が最も多く 58%、次いで「同居家族」53%と家族が半数以上でサービス事業者は「ケアマネ」26%、「訪問介護員」21%だったものが、3 か月後では「別居家族」53%、「同居家族」53%、「ケアマネ」33%、「訪問介護員」13%、とサービス事業者の比率があがってきており、6 か月後では、「別居家族」38%、「同居家族」56%、「ケアマネ」31%、「訪問介護員」13%と別居家族が減少しサービス事業者が微増となった。(図表 18)

※今回、調査票の質問がわかりにくかったようで、調査票2-問3(1)で答えた人数より、調査票2-問3(2)の人数の方が多くなってしまった。(今後改善予定)

図表 18-1 開始後 1 か月におけるいつも2以外の見守り支援の内容とその支援者(n=19) \*無回答 5 名【調査票 2-問 3(2)】

		同居家族	別居家族	ケアマネ	訪問介護員	訪問看護師	その他
3 (2) 支援を行う支援者※複数回答可	1.目視や定期的な連絡による見守り(n=19)	10	11	5	4	1	3
	2.認知症徘徊感知機器(ドアセンサーのようなもの)を使用した見守り(n=5)	3	2	0	0	0	0
	3.その他(n=0)	0	0	0	0	0	0

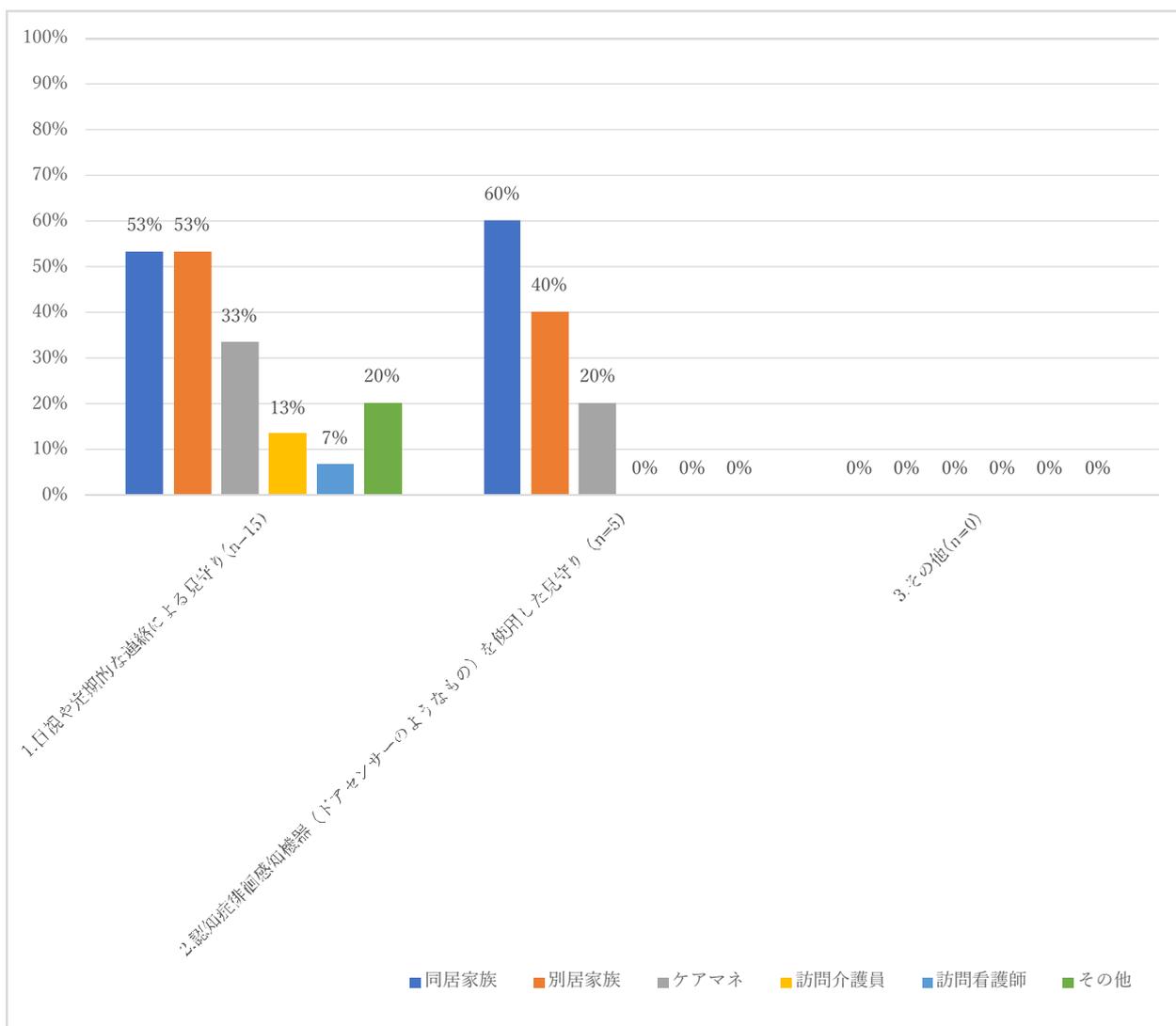
		同居家族	別居家族	ケアマネ	訪問介護員	訪問看護師	その他
3 (2) 支援を行う支援者※複数回答可	1.目視や定期的な連絡による見守り(n=19)	53%	58%	26%	21%	5%	16%
	2.認知症徘徊感知機器(ドアセンサーのようなもの)を使用した見守り(n=5)	60%	40%	0%	0%	0%	0%
	3.その他(n=0)	0%	0%	0%	0%	0%	0%



図表 18-2 開始後3か月におけるいつも2以外の見守り支援の内容とその支援者(n=16)無回答3名  
【調査票 2-問 3(2)】

		同居家族	別居家族	ケアマネ	訪問介護員	訪問看護師	その他
3(2) 支援を行う支援者※複数回答可	1.目視や定期的な連絡による見守り(n=15)	8	8	5	2	1	3
	2.認知症徘徊感知機器(ドアセンサーのようなもの)を使用した見守り(n=5)	3	2	1	0	0	0
	3.その他(n=0)	0	0	0	0	0	0

		同居家族	別居家族	ケアマネ	訪問介護員	訪問看護師	その他
3(2) 支援を行う支援者※複数回答可	1.目視や定期的な連絡による見守り(n=15)	53%	53%	33%	13%	7%	20%
	2.認知症徘徊感知機器(ドアセンサーのようなもの)を使用した見守り(n=5)	60%	40%	20%	0%	0%	0%
	3.その他(n=0)	0%	0%	0%	0%	0%	0%

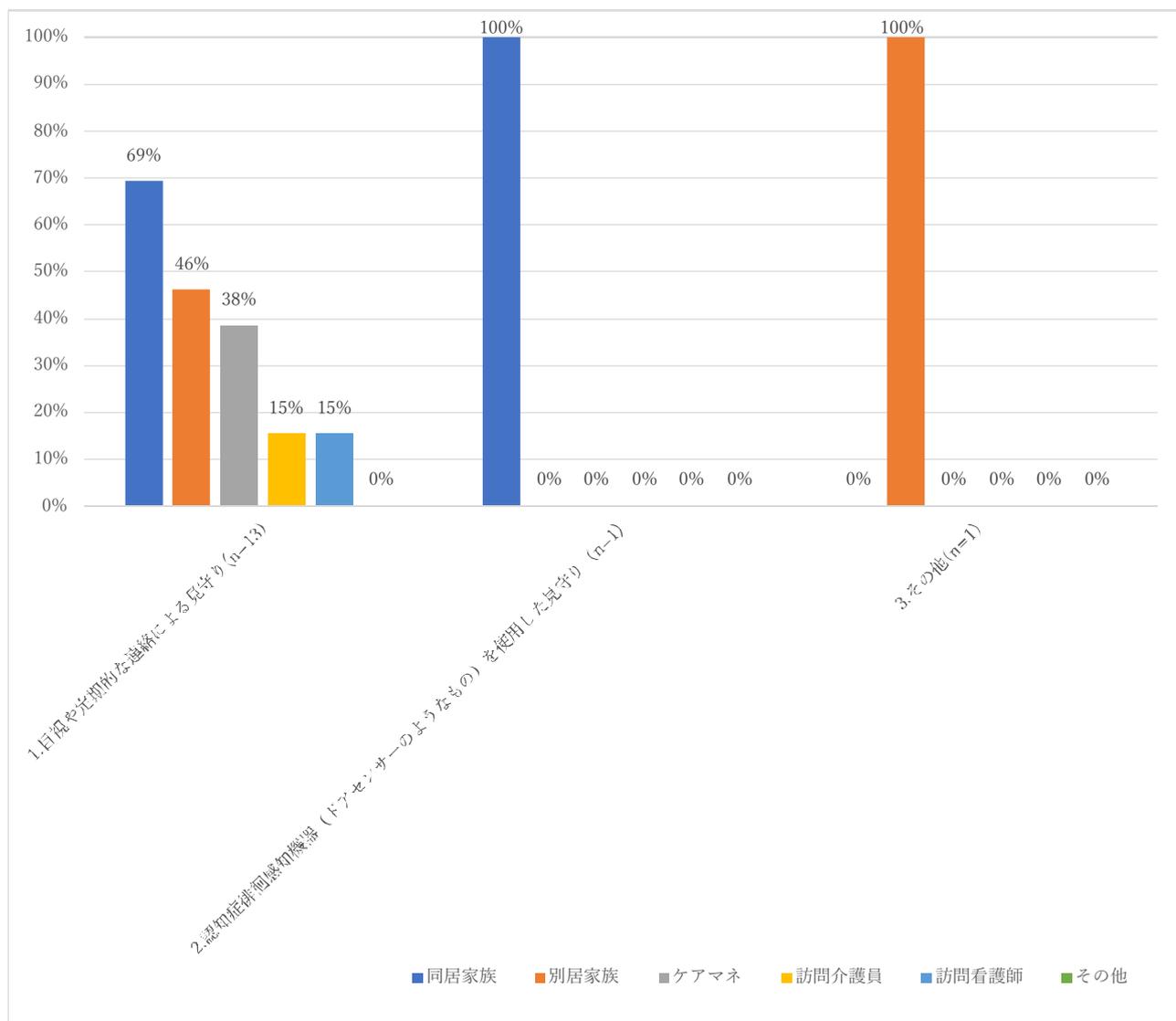


図表 18-3 開始後6か月におけるいつも2以外の見守り支援の内容とその支援者(n=13)無回答3名  
【調査票 2-問 3(2)】

		同居家族	別居家族	ケアマネ	訪問介護員	訪問看護師	その他
3 (2) 支援を行う支援者※ 複数回答可	1.目視や定期的な連絡による見守り(n=13)	9	6	5	2	2	0
	2.認知症徘徊感知機器(ドアセンサーのようなもの)を使用した見守り(n=1)	1	0	0	0	0	0
	3.その他(n=1)	0	1	0	0	0	0

\*その他記入 なし

		同居家族	別居家族	ケアマネ	訪問介護員	訪問看護師	その他
3 (2) 支援を行う支援者※ 複数回答可	1.目視や定期的な連絡による見守り(n=13)	69%	46%	38%	15%	15%	0%
	2.認知症徘徊感知機器(ドアセンサーのようなもの)を使用した見守り(n=1)	100%	0%	0%	0%	0%	0%
	3.その他(n=1)	0%	100%	0%	0%	0%	0%



(3)機器利用後においていつも2以外の見守り支援を行う頻度

図表 19-1～図表 19-2 に示したいつも2以外の見守りについてその頻度は、使用 1 か月後では、「1.毎日(週 7 日)」が最も多く 53%、次いで「3.週 2 から 3 日」が 37%であった。使用 3 か月後では、「1.毎日(週 7 日)」が 40%、次いで「2.週 4 から 6 日」と「3.週 2 から 3 日」が 27%となっている。使用後 6 か月では、「1.毎日(7 日)」が 69%、「3.週 2 から 3 日」が 15%となっている。(図表 19-1～図表 19-3)

図表 19-1 開始後 1 か月におけるいつも2以外の見守り支援を行う頻度(n=19) \*無回答 5 名【調査票 2-問 3(3)】

3 (3) 支援を行う頻度	1	毎日 (週7日)	10	53%
	2	週4から6日	1	5%
	3	週2から3日	7	37%
	4	週に1日 (月に4回)	0	0%
	5	月に2から3回	1	5%
	6	月に1回	0	0%
	7	それ以下	0	0%

図表 19-2 開始後 3 か月におけるいつも2以外の見守り支援を行う頻度(n=15) \*無回答 4 名【調査票 2-問 3(3)】

3 (3) 支援を行う頻度	1	毎日 (週7日)	6	40%
	2	週4から6日	4	27%
	3	週2から3日	4	27%
	4	週に1日 (月に4回)	0	0%
	5	月に2から3回	1	7%
	6	月に1回	0	0%
	7	それ以下	0	0%

図表 19-3 開始後 6 か月におけるいつも2以外の見守り支援を行う頻度(n=13) \*無回答 3 名【調査票 2-問 3(3)】

3 (3) 支援を行う頻度	1	毎日 (週7日)	9	69%
	2	週4から6日	1	8%
	3	週2から3日	2	15%
	4	週に1日 (月に4回)	1	8%
	5	月に2から3回	0	0%
	6	月に1回	0	0%
	7	それ以下	0	0%

## 6. 機器利用前、利用後の効果比較

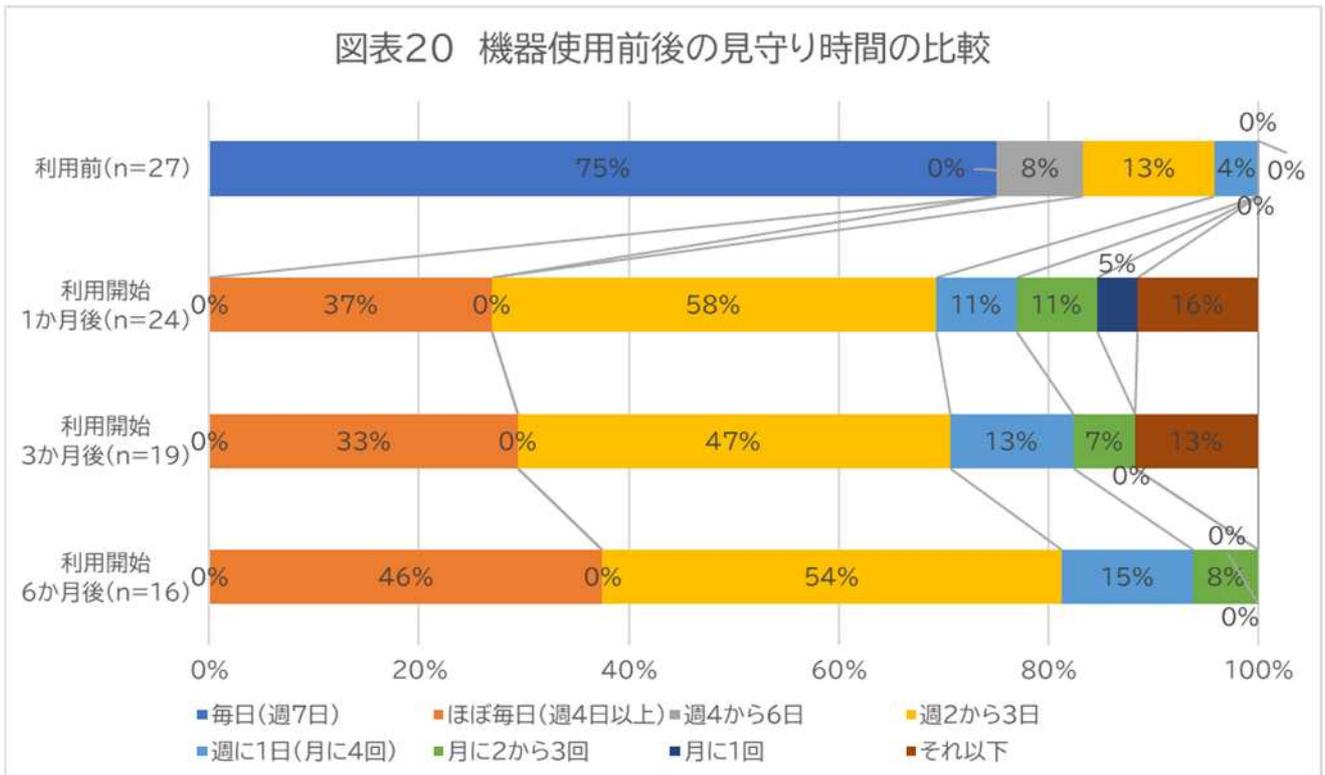
### (1) 見守り支援を行う頻度の比較

機器利用前における見守り支援を行う頻度(図表 9 参照)と機器利用後における見守り支援を行う頻度(図表 15-1~15-3 参照)について以下の通り比較した。(図表 20)

機器利用前においては、見守り頻度が「1.毎日」と回答した方が 75%と最多であったが、機器利用 1 か月後、3 か月後、6 か月後においては「2.週に 2 から 3 日」と回答した方がいずれの時期においても 40%以上と最多であり、やや減少傾向が見られた。

ただし、機器利用後にいつも2以外の見守り支援の頻度についての問いでは、「1.毎日」がいずれも最多という結果であった(図表 19-1~19-3 参照)ため、いつも2以外の見守り支援については継続して必要な状況という傾向が見られている。また、調査票 1-問 3(3)での選択肢(毎日~月 1 回以下)と、調査票 2-問 2(5)での選択肢(ほぼ毎日(週 4 日以上)~月に 1 回より少ない)とが揃っておらず、比較が困難となっていたため、今後改善する予定である。

図表 20 見守り支援を行う頻度に関する機器利用前後比較【図表 9 及び図表 15-1~15-3 比較】



## (2) 見守り支援を行う時間の比較

機器利用前における見守り支援を行う時間(図表 10 参照)と機器利用後における見守り支援を行う時間(図表 16-1~16-3 参照)について以下の通り比較した。(図表 21)

機器利用前においては、見守り時間が「1.利用者の活動時間のうちのほとんど全て見守り支援している(目が離せない)」及び「2.利用者の活動時間の半分以上を見守り支援している」と回答した方が各39%と最多であった。一方で機器利用1か月後及び3か月後においては、「1.利用者の活動時間のうちのほとんど全て見守り支援している(目が離せない)」を選択した方は0~4%と減少し、「3.利用者の活動時間の半分未満の見守り支援をしている」を選択した方が47~50%と最多であり、見守り時間の減少傾向が見られた。

しかしながら6か月後においては「1.利用者の活動時間のうちのほとんど全て見守り支援している(目が離せない)」を選択した方が20%に増加し、「2. 利用者の活動時間の半分以上を見守り支援している」を選択した方が33%と最多となり、減少傾向が続かない結果が見られている。

図表 21 見守り支援を行う時間の比較

